※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１０

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	基礎国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	いきいきとアライブ国語常識総合演習・実践対策（浜島書店） 国語必携ライトパーフェクト演習（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基本的な漢字、慣用表現、語彙、日本文学史、敬語、対義語、類義語、同訓異字などの学習をします。また、習った語彙を生かせるように、作文などの表現課題にも取り組みます。
こつこつとした学習習慣と、授業にまじめに取り組む学習態度などが必要です。

2　学習の到達目標

就職試験で問われるような一般常識や国語常識を身につけること。
語彙を広げて、自らの表現する力を身につけること。
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成すること。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	同訓異字・対義語・類義語・文学史（奈良～平安時代） ［教材］いきいきとアライブ国語常識総合演習・実践対策（浜島書店） 漢字・慣用表現 ［教材］国語必携ライトパーフェクト演習（尚文出版） エッセーを書く ［教材］	a：・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文学史を理解する。 b：・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 c：・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてエッセーを書こうとしている。 ・習った語彙や慣用表現などを用いて、自らの考えを文章に表そうとしている。 ・	授業態度 定期考査	定期考査 リフレクションシート	発表 提出物
2学期	同訓異字・ことわざ・文学史（鎌倉～室町時代） ［教材］いきいきとアライブ国語常識総合演習・実践対策（浜島書店） 漢字・慣用表現 ［教材］国語必携ライトパーフェクト演習（尚文出版） スピーチで自分を伝える ［教材］	a：・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文学史を理解する。 b・・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 c ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている	授業態度 定期考査	定期考査 リフレクションシート	発表 提出物
3学期	慣用句・故事成語・文学史（江戸～昭和時代） ［教材］いきいきとアライブ国語常識総合演習・実践対策（浜島書店） 卒業文集を書く ［教材］	a：・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文学史を理解する。 b・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、説明の仕方を工夫する。 ・他の人の卒業文集を読み、自らの体験を相対化する方法を学ぶ。 c ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かして文集を書こうとしている。 ・進んで表現を工夫し、今までの学習を生かして効果的に書こうとしている。	授業態度 定期考査	定期考査 リフレクションシート	発表 提出物

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２５　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間